

「第5回文部科学省RR2002企画シンポジウム
「ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」～将来へ向けて、5年間のあゆみ」
報告書

今回のシンポジウムでは、まず、第1部において、母群の収集というゼロから始まった本プロジェクトについて5年間の成果について報告し、また、繁殖・育成事業が実施される飼育施設の一つである京都大学霊長類研究所の大規模放飼場建設計画（RRS）の進捗状況を説明しました。第2部では、研究用動物としてのニホンザルの特徴や最新の研究紹介など、実験動物としてのニホンザルについての様々な面について情報を発信しました。さらに、第3部では、実験動物や動物実験に関係する法令・指針等の平成18年6月施行後の研究環境をめぐっての議論を行いました。

研究者だけではなく、一般の方を含む幅広い分野からの参加者を得て、様々な角度から意見交換を行うことが出来ました。ご参加下さった方に厚く御礼を申し上げます。

この公開シンポジウムは、本プロジェクトについて、また、実験動物・動物実験一般についても理解を得るために、年1回程度のペースで開催して参りました。今後もこのような公開シンポジウムを継続、発展させていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。